

みやかん



Mr. みやかん



伊豆沼・内沼の白鳥

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

主な記事

新年のご挨拶

令和5年宮管新年祝賀会を開催

水と空気の未来を創造する

宮城県管工業協同組合

INFORMATION

私たちは「青下の杜プロジェクト」に参画しています



大切な水を人々の
暮らしへとつなぐ



前澤給装工業株式会社

<http://www.qso.co.jp/>

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番二丁目14番4号 Tel.(03)3716-1511(代表)

北海道(011) 814-1515	茨城(029) 824-7581	長野(0263) 87-5264	名古屋(052) 745-8211	九州(092) 472-7341
釧路(0154) 25-0311	栃木(028) 633-8821	東京西(042) 578-2571	京都(075) 365-0066	熊本(096) 386-2377
青森(017) 773-3158	群馬(027) 280-6351	横浜(045) 323-5671	大阪(06) 4808-4411	鹿児島(099) 257-1770
秋田(018) 866-3551	埼玉(048) 815-7112	静岡(054) 238-2171	岡山(086) 243-8151	
仙台(022) 263-2331	千葉(043) 233-9631	新潟(025) 241-5466	広島(082) 291-4351	
福島(024) 927-5651	東京(03) 3711-6331	北陸(076) 240-6510	四国(089) 974-8577	

今月の表紙

伊豆沼・内沼の白鳥（宮城県栗原市）

渡り鳥の生息地としてラムサール条約登録地に指定されている。周辺は手軽なハイキングコース。夏は湖面一面にハスの花が咲き、冬は白鳥や雁が訪れる。1968年国の天然記念物、1973年県の自然環境保全地域、1982年国設鳥獣保護区、1985年ラムサール指定登録。

表紙写真・説明
宮城県観光プロモーション推進室

目次

・ 新年のご挨拶	宮城県管工業協同組合 役員一同	P 1
	宮城県管工業協同組合理事長 井上 環	P 2
	宮城県知事 村井 嘉浩	P 3
	仙台市長 郡 和子	P 4
	仙台市水道事業管理者 佐藤 伸治	P 5
	宮城県中小企業団体中央会会長 佐藤 勘三郎	P 6
	宮城県建設産業団体連合会会長 千葉 嘉春	P 7
・ 令和5年宮管新年祝賀会を開催		P 8
・ 仙台市水道事業管理者へ陳情		P 9
・ 仙台市青下水源地周辺清掃活動に参加		P 10
・ 宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催		P 11
・ ㈱宮城県管工事会館創立50周年記念祝賀会開催		P 12
・ 「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催		P 13
・ 令和4年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催		P 14
・ 第25回全管連北海道・東北ブロック協議会開催		P 15
・ 令和4年度給水装置工事配管技能検定会開催		P 16
・ 令和4年度宮管親善ゴルフコンペを開催		P 17
・ 令和4年度宮管親善ボウリング大会を開催		P 18
・ 第50回仙台市技能功労者表彰を受賞		P 19
・ 「みやぎの建設技能グランプリ」大賞を受賞		P 20
・ 社会保険労務士からの目		P 21
・ 青年部コーナー		P 24
・ 我が社のおすすめ品！		P 26
・ 役員ノート	全栄興業(株) 小野 修司	P 28
・ 組合のうごき		P 29
・ 組合員のうごき		P 33
・ 訃報		P 33
・ 理事（役員）会報告		P 34
・ 投稿	仙興設備(株) 佐藤 敏昭	P 39
・ 編集歳時記	佐静建設(株) 佐藤 健	P 41

○裏表紙広告「前澤給装工業(株)」

※「Mr.みやかんのこれ知ってる?」「健康だより」「国税だより」「諺・漢字コーナー」は、誌面の都合により休ませて頂きます

PROTERIAL

日立金属株式会社は2023年1月4日より 株式会社プロテリアルに 変わりました。

配管機器の ϕ は変わることなく皆様のお役に立ってまいります。

新社名に込めた想い

新社名プロテリアル(PROTERIAL)は、企業理念を構成するMission、Vision、Values、各内容のエッセンスを反映しており、「PRO」+「MATERIAL」から作られています。

「PRO」が表すのはProfessional、Progressive、Proactiveの3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。

「MATERIAL」はこれら3つのPROに支えられた独自の技術から生み出される、高性能材料を意味します。

私たちはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客様の課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けることを約束します。



私たちは1910年の創業以来、社会の皆様安心してお使いいただける配管機器をお届けしてまいりました。 ϕ は当時より変わらぬ信頼の証です。このたび当社は、株式会社プロテリアルに社名を変更し、より一層皆様のご要望にお応えできるよう邁進してまいります。今後も、変わらぬご愛顧をたまわりますようお願いいたします。

ϕ は、株式会社プロテリアルの登録商標です。

株式会社プロテリアル

<https://www.proterial.com/>

配管機器統括部 <https://www.hyoutan1912.proterial.com/>
本社
〒135-0061
東京都江東区豊洲五丁目6番36号(豊洲プライムスクエア)
配管機器営業部
☎(044)385-9381 FAX(03)6837-2966

北日本支店
〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央一丁目6番35号(東京建物仙台ビル)
☎(022)267-0216 FAX(022)266-7891



謹んで新春のご挨拶を申し上げます

令和5年1月

宮城県管工業協同組合

理事長	井 上	環
副理事長	菅 原	美
専任理事	小 林	和
専任理事	吉 田	之
専任理事	小 川	昭
専任理事	赤 間	郎
専任理事	松 岡	一
専任理事	小 野	司
専任理事	渡 辺	浩
専任理事	郷 古	雄
専任理事	相 澤	朋
専任理事	大 服	明
専任理事	堀 部	彦
専任理事	武 田	信
専任理事	大 泉	晃
専任理事	鈴 木	介



新年のご挨拶



宮城県管工業協同組合
理事長 井上 環

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

また常日頃より、当組合の事業運営に関しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、引き続き新型コロナウイルスの対応に追われる一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、原油高騰、円安、物価高等の事案が発生し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしました。そして、来年以降には労働時間上限規制の2024年問題、超高齢化社会の2025年問題と課題が山積しております。コロナ禍前の状態に戻ることはできませんので、組合員皆様の創意工夫と機動力を生かしながら、これまでとは違う視点で物事を捉え、新たな事業展開を行い、継続的に発展させていかなければなりません。組合員からのご意見を取り入れながら、組合運営の活発化、活性化を図り、斬新に前進することを心掛けていきたいと思っております。

デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進、建設キャリアアップシステム（CCUS）をはじめとした処遇改善等、私たち建設産業を取り巻く環境への対応が急がれる中、地域密着型の地場産業も大きな変革が必須の時代となっております。私たち管工事業を生業としている者が、仕事にやりがいと誇りを持てる業界にしていくために、週休二日制や働き方改革等へ鋭意取り組んでいきたいと考えています。そして、私たちの生活に不可欠な「命の水」を安全かつ安定的にお届けするという強い信念を持って、将来に向かって邁進して参ります。そのためには、地元中小企業が一丸となって諸問題に取り組まなければならないと思っておりますので、今年は、様々な業界とも密接な関係を築き、新しいことにチャレンジしていきたい、そのような気構えでおります。

現代は物事を物差しで測るのではなく、目に見えない「心」で推し量ることが大切な時代だと思っております。「心遣い」「心配り」「心に響く」、常にこのような感覚を大事にしながら相手に接すると自分自身が変わり、ひいては、業界も大きく変わると思っております。今年は、組合員の皆様と共にこのような気持ちで1年間を全力で走りたいと考えておりますので、倍旧のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、組合員企業の益々のご発展と皆様方のご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

元気で躍動する宮城を目指して



宮城県知事

村井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、昨年7月に発生した大雨により、人命への被害こそ避けられたものの、県北部を中心に大規模な冠水等による被害が生じました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

昨年は、宮城県制150周年の節目の年でありました。宮城県制150周年記念事業として、様々な観光キャンペーンや催しを実施し、本県の歴史や伝統、文化を県内外に発信するとともに、郷土への更なる愛着を醸成し、魅力あふれる地域づくりの契機となるよう取り組んでまいりました。また、仙台育英学園高等学校が第104回全国高等学校野球選手権大会において東北勢初となる優勝を果たしました。東北の高校球児が長年にわたり挑戦を続けてきた大きな壁を、チーム一丸となって乗り越えたその姿は、東北全体に大きな感動と希望を与えてくれました。

さて、社会情勢がめまぐるしく変化する中、県政は今、様々な行政課題に直面しており、特に、長期化するコロナ禍と物価高騰は、県民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。本県の財政運営は、社会保障関係経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応等により、依然として予断を許さない状況にあります。緊急を要する施策については、今後とも柔軟な予算執行に努め、万全の対策を講じてまいりたいと考えております。

今年は「新・宮城の将来ビジョン」の3年目に当たり、本格的な人口減少局面を見据え、次の世代を育成・応援する施策を重点的に推進してまいります。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による「変革みやぎ」の実現に向け、あらゆる分野でデジタル技術をフル活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化などを図るとともに、昨年度創設した次世代育成・応援基金を活用した若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備、頻発化・激甚化する自然災害から県民を守るための災害に強い県土づくり等の取組を重点的に推進いたします。

宮城県誕生から150年という長い歴史の中で、先人達が積み重ねてきた志を胸に、宮城の力を成長させ、県民が活躍できる機会と地域の魅力にあふれ、元気で躍動する宮城を目指して取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶



仙台市長
郡 和 子

明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市民の健康と生命を守る重要なインフラである上下水道の安定的な維持・運営に多大なご尽力を頂戴しておりますことに、心より感謝を申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢などを背景にした物価の高騰など、社会経済の先行きが不確実性を増し、市民の皆様の暮らしにも大きな影響が生じるなど不安の多い1年でした。しかし、一方では、3年ぶりに現地で行われた「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」をはじめとして、「みちのくYOSAKOIまつり」も4年ぶりに開催されるなど、徐々にではありますが、明るい兆しも見えてきております。未だ楽観が許される状況ではありませんが、皆様と心を1つに、力を合わせ、元気一杯な仙台をつくるために、本年も全力で走り抜いていく所存です。

さて、今年には、国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」が、ここ仙台の地で開催されます。東日本大震災からの復興の歩みと、そして、高度な都市機能と豊かな緑とが共存する「杜の都」の素晴らしさを広く発信してまいります。

また、5月には仙台の奥座敷・秋保温泉をメイン会場として「G7科学技術大臣会合」が開催される運びとなっており、これを契機として、仙台・東北の多彩な食や文化、観光コンテンツなどの魅力を内外に向けて大いに売り出し、ポストコロナにおける交流人口の拡大と地域経済の回復につなげてまいりたいと考えております。

令和3年に策定した本市の基本計画では、連綿と受け継がれてきた「杜の都」のまちづくりを基盤として、世界からも選ばれるまちを目指し、『挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～』を基本理念に掲げました。その実現に向け、市民の皆様との協働のもと、様々な取り組みを着実に進めてまいりたいと思います。

本市の水道事業は、本年3月31日をもちまして、大正12年の給水開始から100周年の節目を刻みます。この100年という長きに亘り、温かくも心強いご支援を賜りました、貴組合をはじめとする関係各位並びに市民の皆様に対しまして、心よりの御礼を申し上げます。

今後も、多くの先達から引き継いだ知恵と有形・無形の財産とを余すことなく活かしながら、多様な皆様が、その持てる力を存分に発揮できる「新たな杜の都」を目指し、仙台に関わる全ての方々とともに「挑戦」を続けてまいりたいと考えています。宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、本市上下水道はもとより、仙台市政の万般に亘りまして、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

最後に、この1年が皆様にとって実り多きものとなりますよう、心よりご祈念を申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



仙台市水道事業管理者

佐藤 伸治

新年、明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、昨年も本市水道の安定的な事業運営に多大なお力添えを賜りまして、誠にありがとうございました。この紙面をお借りし、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による様々な影響、円安などに起因する原油価格の高止まりや資機材価格の高騰など、皆様におかれましては、引き続き厳しい経営環境のもとにおいでになるものと存じます。そのような困難の中、市民の暮らしと地域の産業を支える水道という最重要のライフラインを守るため、日々ご奮闘いただいておりますことに、重ねての感謝を申し上げます。

昨年の3月16日に発生した福島県沖を震源とする最大震度6強の地震では、仙台市内でも震度5強を観測いたしました。この時には、貴組合の皆様がいち早く水道局に駆け付け、復旧作業に懸命の汗を流して下さいました。その迅速さ、使命感の強さに驚くとともに、大変心強く感じた次第です。また、その後の5月には、応急給水訓練にも積極的な参加を頂いたところであり、貴組合の存在は、私どもにとって極めて大きなものとなっています。今後とも、平時・有事を問わず、さらに連携を深めさせて頂きたいと考えております。

さて、水道事業を取り巻く環境は刻々と変化しています。水需要の減少に伴う水道料金収入の減少、拡張期に整備してきた各種施設の老朽化、ベテラン職員の退職による技術ノウハウの喪失など、今後、様々な課題に対応していく必要があります。

このため、令和2年3月、仙台市水道局では「仙台市水道事業基本計画」を策定し、「未来へつなぐ杜の都の水の道～市民・事業者との協働～」という基本理念のもと、「水道システムの最適化」「持続可能な経営」「関係者との連携強化」という3つの将来像の実現を目指し、「12の施策の基本的方向性」を定めました。同基本計画に基づき、事業環境の変化に適切な対応を図りながら、お客様に安全で安心な水道水を安定的にお届けするという私どもの使命をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。

私ども仙台市水道局は、本年3月31日に給水開始100周年を迎えます。この間、大正年間における創設事業に始まり、市域の拡大や人口の増加、経済の発展などによる水需要の増加に対応するため、5次に亘る拡張事業を行い、杜の都・仙台の発展を支えてまいりました。戦争による資材不足や空襲被害、高度成長期における著しい水不足、宮城県沖地震や東日本大震災などの大災害など、歩んできた道は決して平坦なものではありませんでしたが、多くの市民の皆様にご背中を押され、そして、宮城県管工業協同組合をはじめとする関係業界の皆様にご力強く支えて頂いたお陰をもって、晴れて100周年という節目を迎えることが出来ます。全ての皆様に対し、心からの敬意と深い感謝とを表すところ です。

この100周年を新たなスタートとして、次の50年、100年に向け、職員共々まさに心機一転、新たな歩みを開始してまいりたいと考えています。宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、今後、尚一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに、益々のご発展・ご隆盛を遂げられますよう祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

本年も、どうぞよろしくお祈りを申し上げます。

新年のご挨拶



宮城県中小企業団体中央会

会長 佐藤 勘三郎

宮城県管工業協同組合の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻による原材料・エネルギーの高騰にはじまり、再度の福島県沖地震、コロナ感染の第7波から第8波、急激な円安の進行など先行きが見通せない状況が続き、企業経営や組合運営にとって極めて困難な舵取りを強いられた年でした。

また、地球温暖化の影響が明白になり、猛暑や豪雨災害が頻発、市民の平穏な日常生活が脅かされることが多々ありました。皆様におかれましては、感染対策の継続と社会経済の両立の狭間で苦慮されながら新たな年を迎えられた方が多数おられると存じます。このような困難な状況下においても、本会の事業運営について多大なご支援ご協力賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、政府は令和4年度第二次補正予算で「構造的な賃上げに向けた、成長分野で働くための学び直し（リスクリング）支援」に5年間で1兆円を投入することを決定しました。私たち中小企業・小規模事業者も、各社が創意工夫と機動力を発揮し、新たな価値を生み出すことにより継続的に発展するための学び直し「リスクリング」が必要不可欠となりました。その上で、もう一度組合組織の原点である相互扶助の精神に立ち返り、相乗効果を発揮することで、組合や連携組織が地域活性化や日本経済回復の原動力になれると信じています。

昨年、宮城県中央会は引続き「新型コロナウイルス感染症」対策支援や事業再構築補助金の申請支援、ものづくり補助金による生産性の向上等を継続するとともに、「3ヶ年計画」に基づく会員組合・傘下企業の持続的発展に向けた支援として、デジタル化支援や活性化支援等の伴走型支援に力を入れて参りました。また、組織強化の新たな取組として、賛助会員制度「NEOバリュー・プラス」を創設するなど、常に現状に満足せずに進化を続け、今後も尚一層、皆様のお力になれるよう役職員一同全力で取り組んで参りたいと存じます。

今年は10月に第75回中小企業団体全国大会を宮城県で開催します。前回は第60回大会（平成20年）で15年ぶり3回目の宮城大会となります。全国から約2,000人をお招きし、次世代放射光施設（ナノテラス）をはじめ、VRやメタバース等の最先端技術に触れて頂き、併せて復興に係る感謝の気持ちをお伝えする大会にしたいと存じます。

また、宮城の文化や自然、水産物、グルメなど多岐にわたる魅力的な観光資源を満喫していただければ幸いです。第75回全国大会〔宮城大会〕が盛大で充実した大会となるよう役職員一同、全力で取り組んで参りますので、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が活気に満ちた素晴らしい1年となり、宮城県管工業協同組合の皆様のご飛躍発展の年となるようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



宮城県建設産業団体連合会

会長 千葉 嘉 春

新年明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様方には、お健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

また、常日頃より当連合会の事業運営に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災における復旧・復興事業も、官民の総力を結集した取組により、ハード面の整備についてはほぼ完了し、スピード感を持った建設産業界を含めた関係者皆様方のこれまでのご労苦にあらためて、感謝と敬意を申し上げる次第であります。

県内建設産業を取り巻く環境は、復興事業が収束したことにより公共事業通常予算が激減状況にあり、加えて、今般のコロナ禍、ウクライナ危機や円安により、内外情勢の先行きが不透明になっている状況において、民間建設投資の冷え込み、資機材価格の高騰・品薄等によって、建設産業界にも深刻な影響が広がっております。

そのような中、昨年も3月16日深夜の福島県沖地震において、宮城県内でも最大震度6強を記録し、各地で断水、停電被害や東北新幹線が白石市で車両脱線するなどの被害が発生、また、7月大雨では大崎市内において観測史上最大降水量を記録し、河川の決壊・越流等による浸水等被害が甚大となる等、全国各地で災害が激甚化・頻発化する昨今、社会インフラの早期復旧による住民並びに地域の安全・安心で快適な暮らしを支える重要な役割を担っているのが、建設産業界であり、その都度真っ先に駆けつけ対応にあたっているところではありますが、これら自然災害等による被害は国民生活に多大な影響を与えることから、更新時期にある社会インフラの老朽化対策を含めた国土強靱化や地方創生に向けた安定的・継続的な未来への投資が望まれるところでもあります。

一方で、建設産業界においても将来の担い手確保が大きな課題となる中で、来年に迫った時間外労働の上限規制の適用を踏まえ、「4週8休」「週休2日」に向けた働き方改革や賃金アップ、建設キャリアアップシステム（CCUS）を始めとした処遇改善施策等、建設産業界挙げての対応が急速に進められており、地域建設業にも大きな変革が必要とされております。加えて、生産性向上へのICT、DXの取組など、新たな3K（給料・休暇・希望）に「カッコいい」を加えた新4Kの実現に向け、環境改善を進めているところではありますが、いずれも、発注者側などの理解と連携・協力が必須でもあります。

当建産連と致しましても、やりがいや誇りと魅力ある産業づくりに向けたDXの推進等によって生産性向上を図り、働き方改革を進めCCUSの普及推進等により処遇改善・環境改善に対し、他産業にも負けない将来の担い手確保・育成に向け取組んで参る所存であります。

今後も人々の生活が続く限り存続し重要な役割を果たすのが建設産業であり、「命の水」を安定的に供給する重要な生活基盤を支える貴組合員の責務は非常に重要であることから、しっかりと将来の担い手を確保し、生涯を託せる魅力ある産業づくりに貴組合とも連携し一体となって進めて参りたいと存じます。

最後になりますが、貴組合並びに組合員皆様方がさらに飛躍発展されますことを心から念願し新春のあいさつといたします。

令和5年宮管新年祝賀会を開催

1月24日(火)、仙台市青葉区の江陽グランドホテルにおいて、新年祝賀会を開催したところ、来賓及び組合員等101名が出席した。

祝賀会は、午後5時30分に千葉総務部次長の司会で開会し、はじめに井上理事長から「新型コロナウイルス感染拡大の影響から3年ぶりの開催で、私が理事長を仰せつかってからは初めての新年祝賀会となる。建設業界とりわけ私ども管工事業界にとっては、労働時間上限規制の2024年問題、超高齢化社会の2025年問題に対し、働き方改革への対応やDXの活用が不可欠だが、中小零細企業にとっては非常に難しい課題である。全ての業界が協力し合ってコミュニケーションを密にして、これらの諸課題に取り組まなければならない。まずは自ら勉強し、組合が業界を牽引していけるよう取り組んで参るので、格別のご指導、ご鞭撻を賜りたい」と挨拶があった。



井上理事長



遠藤宮城県副知事



高橋仙台市副市長



東北地方整備局大竹建政部長



佐藤水道事業管理者

続いて、宮城県知事（代理：遠藤信哉副知事）から「組合員の皆様はライフラインの維持に昼夜を問わず努められ、また、官公需適格組合として責任ある工事履行体制を確立されるとともに、業界全体の技術・技能の向上と人材育成へ積極的に取り組まれている。これは地域社会に信頼と安心を与え、本県経済の発展と安定に寄与するものであり、深く感謝申し上げる」、仙台市長（代理：高橋新悦副市長）から「109万の仙台市民の命と暮らしの基盤である上下水道を支えて頂いていることに心より感謝申し上げます。本年3月31日には仙台市水道事業通水開始から100周年を迎えるが、これは貴組合をはじめとする皆様のお力添えの賜であり、今後も変わらぬご協力とご支援をお願いしたい」、国土交通省東北地方整備局長（代理：大竹将也建政部長）から「日常生活に欠かすことのできない水と空気を安全且つ安定的に届けるといふ重要な役割を担っている皆様方に深く敬意を表す。東日本大震災の発生から12年を迎えようとしているが、皆様方のお力添えのもと、復興事業を着実に進められたことに

感謝申し上げます。給料が良く、休暇が取れ、希望の持てる魅力的な建設専門工事業界となるよう、皆様方とともに連携を図りながら取り組んでいきたい」と祝辞を頂戴した。

また、菊地恵一宮城県議会議長と赤間次彦仙台市議会議長からも挨拶を頂き、佐藤伸治仙台市水道事業管理者による乾杯の発声で開宴した。

出席者は、新年の挨拶を交わして和やかに歓談し、午後7時に菅原・小林両副理事長、吉田専務理事、小川常務理事が登壇し、小川常務理事の三本締めで盛会のうちにお開きとなった。



仙台市水道事業管理者へ陳情

10月12日(水)、仙台市太白区の仙台市水道局大野田庁舎4階の第一応接室において、当組合と仙台市配水管工事業協会の両団体は、仙台市水道事業管理者に対して連名で、来年度事業に向けた陳情を行った。今回は、配水管整備事業に対する積極的な予算化と安定的な事業量の確保など5項目について要望した。

なお、仙台市水道局の出席者、両団体からの陳情者及び陳情項目は次のとおり。



井上理事長（左）と佐藤管理者

－陳情会出席者－ [順不同・敬称略]

仙台市水道局

佐藤水道事業管理者・佐藤次長・菊池次長・大槻総務部長・宮野浄水部長・佐藤給水部長
渡部参事兼計画課長・鈴木総務課長・高橋財務課長・井上管路整備課長

宮城県管工業協同組合

井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事・堀理事

仙台市配水管工事業協会

大浦副会長・本山副会長

－陳情項目－

1. 予算について

老朽管更新の推進をはじめとした配水管整備事業に対して、一層積極的な予算化をお願い致します。

2. 事業量の確保について

宮管に所属する組合員企業と水工会会員企業が経営を持続できるよう、安定した事業量の確保と、地元専門工事業者への優先発注に今後ともご配慮願います。

3. 工事発注について

ご当局には既に施工時期の平準化にご理解をいただいておりますが、今後の管路更新のペースアップに際しましても債務負担行為の活用や予算の繰越等に一層のご配慮をお願い致します。

また、若年労働者の入職確保と定着を図るため、入職者が安心して働ける現場環境の整備、とりわけ慢性的な長時間労働是正のために、休日や天候等を勘案した適切な工期設定に更なるご配慮をお願い致します。

4. スライド条項の適切な運用について

国土交通省は令和4年6月24日付事務連絡で各関係部局（地方公共団体等を含む）に『資材価格の急激な変動に伴う請負代金の変更等について』を発出し、公共工事標準請負契約約款第26条第5項に規定する、所謂単品スライド条項の運用一部変更を通知しております。

ご当局におかれましては、今後更なる物価急騰などの変動があった場合には、スライド条項の適切な運用にご配慮をお願い致します。

5. 入札参加要件について

ご当局が策定された基本計画の中で重点施策の一つに掲げられた災害に対する連携の強化と対応の充実につきましては、私ども両団体は常にご当局の負託と期待に応えられるよう肝に銘じているところであります。

現在、災害協定締結の有無に関しましては、総合評価時における加点の対象項目にさせていただいておりますが、近年頻発している自然災害や不測の突発事故など有事への対応強化は社会的な命題と認識しており、私ども業界がご当局と緊密に連携し、今後とも充実した体制で対応が図れるよう、配水管工事につきましては、発注者であるご当局に独自の裁量権がある入札参加要件として次の内容を採用していただきたく、是非ご検討願います。

『仙台市水道事業管理者と災害時の応援協定を締結している、又はその協定内容に参画していること』

仙台市青下水源地周辺清掃活動に参加



開会式の様子

10月29日(土)、仙台市青葉区熊ヶ根の青下水源地において、仙台市水道局主催で青下の杜プロジェクト水源地周辺清掃活動が実施された。同プロジェクトに協力している民間の6企業1グループ1団体が参加し、当組合からは組合員等13名が参加した。仙台市は令和5年3月31日に給水開始100周年を迎えることから、仙台水道の発祥の地である青下水源地美化活動として行われた。

当日は秋晴れの中、午前10時20分、参加者全員が仙台市水道記念館駐車場へ集合し開会式が行われた。仙台市水道局職員が司会を務め、岩淵明広営業課長の挨拶

の後、佐藤伸治仙台市水道事業管理者から参加者の士気を高める掛け声があり活動に入った。清掃活動は、水源涵養林・周辺道路を3班に分かれて行い、当組合は、5月28日(土)に実施された「青下の杜プロジェクト森林保全作業体験」のエリア内で水源涵養林の枯れ枝・間伐材の清掃を担当した。作業終了後、再び水道記念館駐車場に集まり集積・分別を行った。



枯れ枝・間伐採清掃の様子

<青下の杜プロジェクト>

令和2年1月仙台市は、民間の8企業1団体と協定を締結。令和5年1月現在、7企業1グループ1団体が参画しており、仙台市の水道水源の一つである青葉区熊ヶ根の青下水源地において、仙台市と連携して仙台市が保有する水源涵養林の保全育成に取り組み、森林植樹や清掃活動等のイベントが行われている。

青下の杜プロジェクトHP

https://www.suidou.city.sendai.jp/nx_html/03-suishitsu/03-107.html



集合写真（撮影時のみマスクを外しています）

宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催



白石工業 佐藤教頭

10月4日(火)と5日(水)の2日間にわたり、宮城県白石工業高等学校(以下、白石工業)において、同校の設備工業科2年生27名を対象に標記講習会を開催した。開催にあたっては、当組合が主体となり、メーカー3社(株クボタ・積水化学工業(株)・前澤給装工業(株))の協力を頂いた。

同講習会は、近年、配管施工に関する技術が目覚ましく進展している中で、学校のカリキュラムだけでは、なかなか学ぶことが出来ない配管工事の最新技術を体験学習するもので、昨年度に続いて2回目の開催となった。

4日午前11時、はじめに白石工業の佐藤祥教頭から挨拶があり、続いて当組合の井上理事長から「われわれは、水と空気を安定的に供給する重要な責任を担っている。将来は是非私たちの業界で活躍してほしい」と挨拶があった後、講師が紹介され、講習に入った。

一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会(株クボタ)が水道施設とダクタイル鋳鉄管について、積水化学工業(株)が水道配水用ポリエチレン管の施工について、前澤給装工業(株)がサドル付分水栓と施工について、それぞれ担当者がまず座学で説明を行った。また、座学の後、実技講習が4~5人一組の3班に分かれて行われ、各コースを2日間にわたり、順番に体験した。



サドル付き分水栓施工の様子



集合写真(撮影時のみマスクを外しています)

(株)宮城県管工事会館創立50周年記念祝賀会開催



菅原社長



井上理事長



渡辺常任相談役

11月22日(火)、仙台市青葉区の江陽グランドホテルにおいて、(株)宮城県管工事会館創立50周年記念祝賀会が開催され、株主等38名が出席した。

祝賀会は、午後6時、小林照和副社長(当組合副理事長)の司会で開会し、はじめに菅原雅美社長(当組合副理事長)から会館の歴史と建設当時の状況、その後の運営の経過等について挨拶があった後、井上理事長から祝辞が述べられた。

次いで、渡辺皓元社長(当組合常任相談役)の乾杯の発声で開宴、出席者は思い出等を懐かしみながら、和やかに歓談し、午後7時30分、内海透前社長による万歳三唱の中締めで盛会のうちに散会した。



会場の様子



にこやかに懇談



和やかに語らいました



万歳三唱で中締め(右上:内海前社長)

「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催

12月14日(水)、宮城県白石工業高等学校において、「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県の主催で開催された。建設産業では現在、従事者の高齢化や若手技術者・技能者の減少等により担い手不足が深刻化している。そこで、地元建設企業の若手技術者・技能者が、建設産業の将来の担い手として期待される県内工業高校の生徒と交流し、建設産業の魅力ややりがい、労働環境等を直接伝えることで建設産業に対する関心・理解を醸成し、今後の就労促進を図ることを目的として、一昨年から同校の1年生を対象にこの架け橋サロンが実施されている。当組合は県からの要請を受けて、組合員企業2社から若手の技術者・技能者を派遣した。

当日は、午前9時に県土木部事業管理課建設業振興・指導班の坂井雄亮主事の司会で開会し、同校設備工業科の日下真一教諭から挨拶があった後、(一社)宮城県建設業協会を代表して(株)松浦組の松浦洋平代表取締役から、建設業は日常生活の中で非常に身近なところにあり、世の中に必要とされる産業であること、また、チームで1つの建物を創り上げる魅力と完成した建物は形として後世まで残り、且つ地図に記載されること等について生徒に分かりやすく説明されるとともに、次代の建設産業を担って頂くことを期待する旨の話があった。

続いて、生徒が4つのグループに分かれ、グループのコーディネーター役を当組合から派遣した井上樹氏(井上設備工業(株))と石川昂由氏(株)いづみ衛生施設工業)の他、(一社)宮城県建設業協会から派遣された猪股諒輔氏(株)松浦組)、(一社)宮城県空調衛生工事業協会から派遣された荒虎太郎氏(株)ホシナ)が務めた。15分間ずつのフリートーク形式で進められ、コーディネーターの4名は各グループを移動しながら生徒全員と交流を図った。仕事の内容、給料、休暇の取得状況、建設業に必要な資格等の様々な質問に答えながら意見を交換する中で、仕事はメリハリが大事であること、不明瞭なことはきちんと確認すること、時代に合った建設業にしていくためには自分の考えをしっかりと伝える必要があること、夢や目標を持つと前に進むきっかけになること等、自身の体験を踏まえ、時折笑いを交えながら各々の考えや思いを伝えた。

最後に生徒から「建設業の仕事は大変そうだ」「会社での働き方が学べて良かった」等の感想が述べられて終了した。



白石工業設備工業科の日下先生からの挨拶



井上設備工業(株)の井上氏(中央)



(株)いづみ衛生施設工業の石川氏(中央)

令和4年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催

9月30日(金)と10月1日(土)の2日間にわたり、当組合3階研修室において給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催したところ、組合員の従業員等16名が受講した。この講習会は主任技術者試験合格の一助となるよう例年開催しており、講師は当組合の白戸工事部次長が務めた。なお、今回も新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度同様、マスクの着用や手指消毒を徹底する等、万全の策を講じて行った。

開講にあたって松岡清一総務・厚生委員長から「仕事で忙しい中とは思いますが、合格できるように頑張ってください」との挨拶があった後、早速講習に入った。

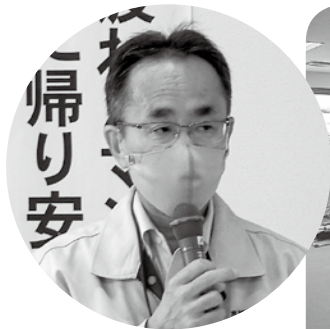
冒頭、講師の白戸次長より、全ての科目で合格点を取る必要があること等、試験の合格基準が具体的に説明され、また、過去問題をしっかりと繰り返して解いていけば確実に合格に近づくので、受講生の皆さんは日々仕事で勉強時間を取りにくいとは思いますが、2日間をしっかりと活用し、講習後も勉強を続けてほしいと話された。その後、2日間にわたり、『給水装置工事技術指針』と全国管工事業協同組合連合会発行の『これならわかる問題と解説』から抜粋して作成した資料によって過去問題を解きながら解説していく形で講習が行われた。出席者は、講師の説明に熱心に耳を傾け、演習問題に取り組んでいた。



松岡委員長

【講習内容：試験範囲全般】

公衆衛生概論、水道行政、給水装置工事法、給水装置の構造及び性能、給水装置計画論、給水装置工事事務論、給水装置の概要、給水装置施工管理法



白戸次長



ソーシャルディスタンスを保って行いました



新発売

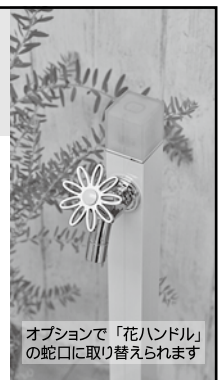
わずか40mm角柱！スタイリッシュなNewデザイン。
エクステリアの次世代型不凍水栓柱、選べる14色！

デザイン不凍水栓柱

アイスルージュ
Ice Rouge

株式会社 外村製作所 仙台支店

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18 TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290



オプションで「花ハンドル」の蛇口に取り替えられます

第25回全管連北海道・東北ブロック協議会開催



福島県連 松原会長

10月19日(水)、福島県郡山市の郡山ビューホテルアネックスにおいて首題協議会が開催され、全国管工事業協同組合連合会（以下、全管連）の渡辺皓相談役（当組合常任相談役）をお招きし、全管連東北ブロックから35名、同北海道ブロックから15名の合計51名が出席した。

会議は、東北ブロック事務局の千葉総務部次長が司会を務め、はじめに、福島県管工事業協同組合連合会の松原文司会長と北海道管工事業協同組合連合会の佐藤安幸会長から挨拶があった後、両ブロックから出された以下の議題について意見交換が行われた。

1. 北海道・東北ブロック共通の提出議題

(1) 水道事業者からの委託業務等について

2. 北海道ブロックからの提出議題

(1) 公共工事等における単品スライド条項の適用について

(2) 若手職員採用に向けた取組について

(3) 災害時対応の取組について

(4) 宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について

3. 東北ブロックからの提出議題

(1) 漏水修理業務における待機料について

(2) 建設キャリアアップシステムへの取組状況について

(3) 水道事業広域行政化の進捗状況について

(4) 発注の平準化の取組について

(5) 担い手の育成について

(6) DXへの取組状況等について



北海道連 佐藤会長



平成30年以来4年ぶりの開催

令和4年度給水装置工事配管技能検定会開催



給工財団 清水参与

9月28日(水)と29日(木)の2日間にわたり、当組合構内において、公益財団法人給水工事技術振興財団(以下、給工財団)主催、公益社団法人日本水道協会と全国管工事業協同組合連合会(以下、全管連)の後援、全管連宮城県支部〔宮城県管工事業協同組合連合会(以下、宮管連)〕の運営により、令和4年度給水装置工事配管技能検定会が3年ぶりに開催された。

水道法施行規則第36条第2号に、配水管から水道メーターまでの給水装置工事については、適切な技能を有する者に施工させる旨が規定されている。給工財団では、適切な技能を有する者を養成するため平成11年度から「給水装置工事配管技能者講習会」を開始したが、水道事業発展への更なる貢献と技能を有する者の養成促進という観点から、平成22年に講習内容の検討と見直しを行い、平成24年度より「給水装置工事配管技能検定会」に変更されている。

この検定会は、2年以上の給水装置工事实務経験と配水管の分岐穿孔及び給水管の接合等の技術に関する基本的な知識を既に有する者、又は工業高等学校等の卒業者で配管実技を履修している者等を対象としており、今回は59名(うち、宮管組合員企業から9名)が受検した。

当日は、事務局を与える当組合の千葉総務部次長が司会を務め、はじめに給工財団の清水伸之参与と宮管連の堀政信専務理事(当組合理事)から挨拶があり、実技監督員の紹介の後、監督員と運営の協力を頂いた前澤給装工業(株)の社員による分岐穿孔の模範実演が行われ、受検者はそれを参考にしながら課題に取り組んだ。また、学科課程は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から特例で免除となった。

なお、実技課程の検定内容は次のとおり。



宮管連 堀専務理事

【実技課程(120分)】

「配水管(ダクタイル鋳鉄管)へのサドル付分水栓の取付け」

「手動式穿孔機による配水管の分岐穿孔」

「給水管3管種(ポリエチレン二層管、硬質ポリ塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管)の切断・接合・組立」



検定に取り組む受検者

令和4年度宮管親善ゴルフコンペを開催

9月7日(水)、利府町の利府ゴルフ倶楽部において、令和4年度宮管親善ゴルフコンペを3年ぶりに開催したところ、組合員等26名が参加した。このコンペは、福利厚生事業として総務・厚生委員会が担当して実施した。

このゴルフ場は、地形を最大限に生かして伸びやかに設計されており、毎年ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンが行われる東北地方を代表するゴルフ場の一つである。参加者は、18ホール全てが異なる個性豊かな表情をもつコースを楽しみながら、腕前を競った。

なお、現下の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開会式と表彰式は中止とし、それぞれスタート時間に合わせて集合、また流れ解散としたが、当日は天候にも恵まれ、スポーツの秋を満喫しながら楽しくプレーすることができた。

結果は、(株)大盛設備工業の佐藤秀一社長がベストグロスの好成績で見事初優勝を果たした。結果は次のとおり。



優勝した佐藤社長

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	※佐藤 秀一	(株)大盛設備工業	37	41	78	7.2	70.8
準優勝	村上 和浩	(株)興盛工業所	41	42	83	10.8	72.2
第3位	後藤 和弘	(有)勇扇工業	40	48	88	15.6	72.4
第4位	大浦 明	(株)仙塩管工事センター	47	44	91	18.0	73.0
第5位	阿部 一貴	三豊工業(株)	44	43	87	13.2	73.8

※ベストグロス

ライフラインを支える使命

人々の暮らしを守る技術がマエザワにあります。



前澤工業株式会社

東北支店

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号 TEL (022)298-7611

www.maezawa.co.jp

令和4年度宮管親善ボウリング大会を開催

11月11日(金)、仙台市宮城野区のコロナキャットボウル仙台店において恒例の宮管親善ボウリング大会を開催したところ、組合員従業員18社91名が参加した。この大会は、福利厚生事業の一環として総務・厚生委員会が担当している。



大いに盛り上がりました

大会開始時刻の午後6時30分、千葉総務部次長の司会で開会し、はじめに松岡清一総務・厚生委員長から挨拶があり、続いて、ボウリング場の担当者からルール説明が行われ、5分間の練習ボールの後、一斉にスタートした。手指消毒とマスク着用を徹底し、感染予防に留意しながらの大会となったが、各レーン毎にボールの行方を皆で見つめ、ストライクやスペアが出ると歓声をあげたり、拍手をして喜び合う姿も見られた。

表彰式は、昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から流れ解散とし、入賞者へは、後日、事務局から賞品を各所属会社へお届けした。

なお、結果は次のとおり。

[個人戦：男性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	高橋 健	(株)安達工業	276	200	476		476
準優勝	佐藤 裕樹	(株)丹野設備工業所	189	160	349		349
第3位	稲垣 春幾	(株)丹野設備工業所	152	178	330		330
第4位	日下野智洋	(株)日幸商會	158	168	326		326
第5位	佐藤 永治	(株)相澤設備	178	143	321		321

[個人戦：女性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	飯野 幸江	(株)安達工業	178	156	334	50	384
準優勝	伊藤美智代	(株)宮城日化サービス	104	135	239	50	289
第3位	木村 友香	山元工業(株)	116	103	219	50	269
第4位	西村 瑠亜	(株)安達工業	107	109	216	50	266
第5位	渡辺 留美	中央管工業(株)	71	145	216	50	266



男性の部優勝の高橋さん



女性の部優勝の飯野さん

第50回仙台市技能功労者表彰を受賞 ～(株)大盛設備工業 鈴木 正 氏～



(株)大盛設備工業
鈴木氏

11月7日(月)、仙台市宮城野区の仙台サンプラザにおいて、仙台市主催による第50回仙台市技能功労者表彰式が行われ、席上、当組合から推薦した組合員(株)大盛設備工業の鈴木正氏が受賞した。

表彰式は、はじめに仙台市長(代理：藤本章副市長)の式辞があり、続いて、来賓を代表して仙台市議会赤間次彦議長と仙台市技能職団体連絡協議会阿部忠会長から祝辞が述べられた後、23職種39名に対し、表彰状

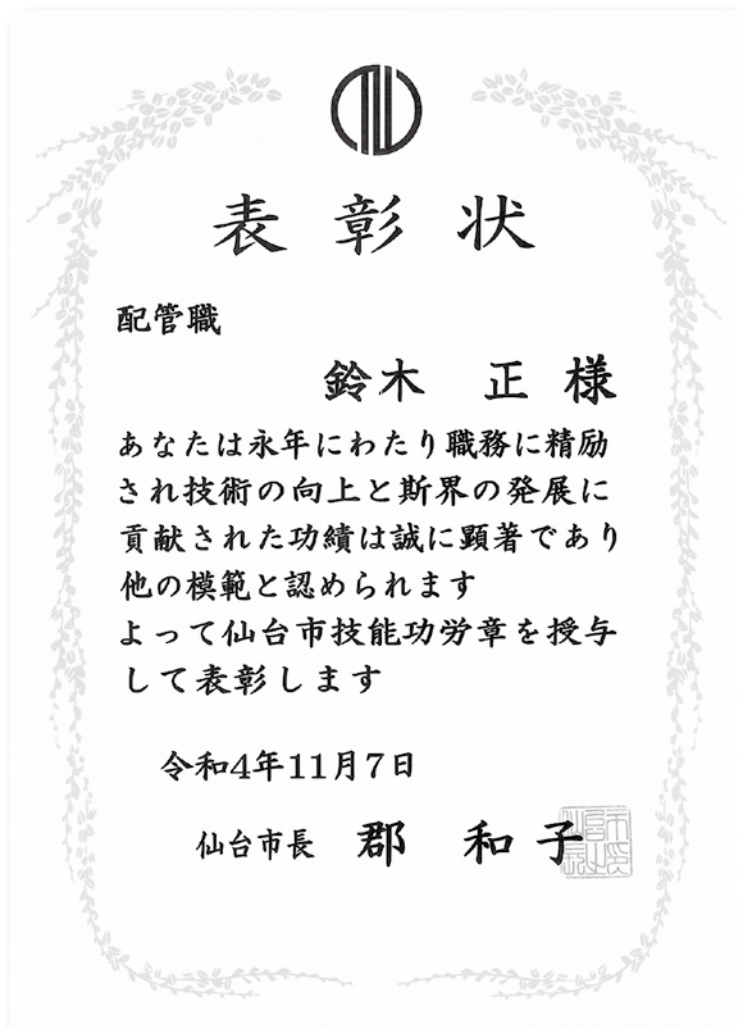
の授与が行われた。

仙台市技能功労者は、仙台市内の事業所に勤務している技能者及び自営業者で、経験30年以上を有し、他の技能者の模範と認められた方が表彰されている。

誠におめでとうございます。



藤本副市長から表彰を受ける鈴木氏(左)



「みやぎの建設技能グランプリ」大賞を受賞

～(株)大盛設備工業 林 正春 氏～



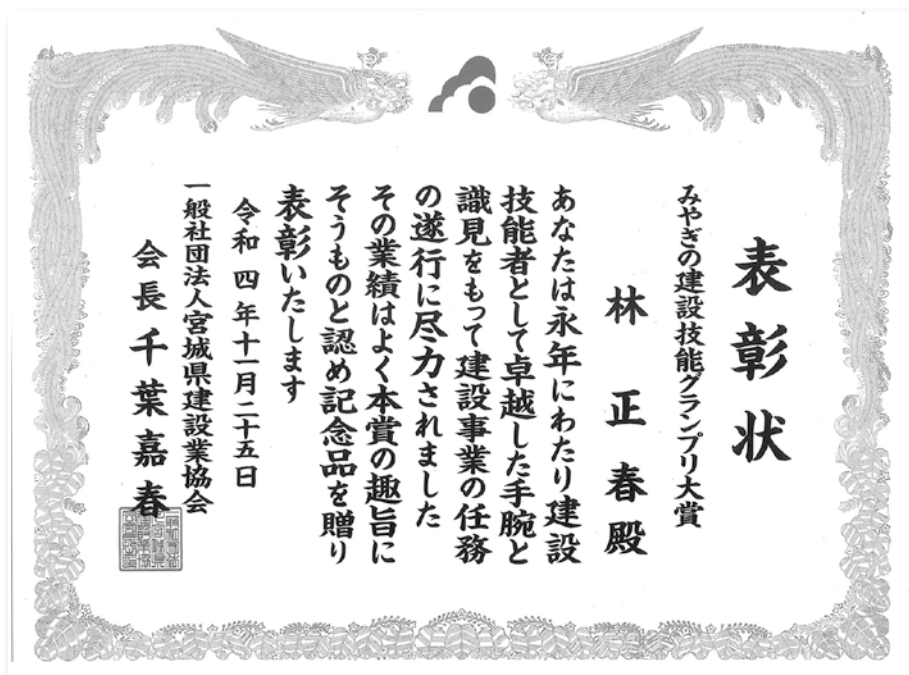
(株)大盛設備工業
林氏

11月25日(金)、仙台市青葉区の宮城県建設産業会館において、令和4年度宮城県建設雇用改善推進大会が開催され、席上、組合員(株)大盛設備工業の林正春氏が「みやぎの建設技能グランプリ」大賞を受賞した。

この表彰は、優れた現場技能者を対象として、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲を喚起し、その能力と資質の向上を図り、もって建設業の健全な発展に寄与することを目的に(一社)宮城県建設業協会が行っているものである。

林氏は、長く管工事業に従事し、職長(配管工)として技能を磨くとともに、現場経験を積みながら施工実績を残し、かつ、安全作業を心がける姿勢は他の模範となっている。また、職業訓練指導員(配管科)の免許を有し、若手技能者の育成に積極的に取り組んでいること等が高く評価され、今回の受賞となった。

誠におめでとうございます。



火無し工法だから、

1. ロウ付け不要

2. 施工時間を短縮

3. 火災・火傷の心配なし

ワンタッチ継手だから、

4. 特殊技能不要・締付け工具不要

「冷媒銅管用 ワンタッチ継手」

エフ-1
ワン

流体をコントロールするのが仕事です。

株式会社 タブチ

商品のお問合せは
専用回線

06-6708-1051

受付時間 平日 9時～12時 13時～17時 (土日祝日 弊社休業日は除く)



月60時間を超える残業代が1.5倍に

北山F P 社会保険労務士事務所
代表 北山 茂 治

今年の4月にいよいよ中小企業でも1月60時間を超える残業代が、1.25倍から1.5倍に変更になります。昨年5月の“みやかん”でも少し触れましたが、実施時期が近づいてきましたので、今回の“みやかん”にも掲載させていただきます。

<概要>

令和5（2023）年3月31日までの月60時間を超える残業の割増賃金率は25%ですが、令和5（2023）年4月1日からは2倍の50%になります。つまり通常的时间単価の1.5倍になるということです。月に60時間を超える残業には要注意となってきます。

※令和5（2023）年4月1日から、労働させた時間について、割増賃金の引き上げの対象となります。

実は大企業は平成22（2010）年4月から実施されていました。中小企業での実施が延び延びになっていたのですが、今回実施されることになりました。

(2023年3月31日まで)			(2023年4月1日から)		
月60時間超の残業割増賃金率 大企業は 50% (2010年4月から適用) 中小企業は 25%			月60時間超の残業割増賃金率 大企業、中小企業ともに50% ※中小企業の割増賃金率を引き上げ		
	1か月の時間外労働 (1日8時間・1週40時間 を超える労働時間)			1か月の時間外労働 (1日8時間・1週40時間 を超える労働時間)	
	60時間以下	60時間超		60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%	大企業	25%	50%
中小企業	25%	25%	中小企業	25%	50%

<深夜労働ではどうなるか>

深夜労働とは22時から翌日5時までの時間帯で働くことです。深夜割増賃金率は25%ですから、月60時間を超える残業を深夜の時間帯にしますと、深夜割増賃金率25% + 時間外割増賃金率50% = 75%となります。つまり通常的时间単価の1.75倍となります。

<休日労働との関係>

月60時間の残業の算定には法定休日に行った労働時間は含まれませんが、それ以外の休日に行った労働時間は含まれます。

例えば、日曜日が法定休日の会社で、土曜日も休日なら、土曜日は法定外休日となります。ですから土曜日に働いた場合は法定時間外労働（残業）に加算されます。会社の法定休日がいつなのかを確認しておいてください。

参考：法定休日労働の割増賃金率は35%です。法定外休日労働の割増賃金率は25%です。

労働基準法には、会社は従業員に1週間に1日または4週間に4回の休日を与えなければならないと明記されています。法定休日は、就業規則に記載されている会社が多いので、念のため就業規則を確認してみてください。

<代替休日>

月60時間を超える法定時間外労働（残業）を行った労働者の健康を確保するため、引き上げ分の割増賃金の代わりに有給の休暇（代替休暇）付与することもできます。

25%の割り増し分までは必ず金銭で支払う必要がありますが、それを超えた分は、労使協定に基づいて、休暇に振り替えることができます。

労使協定では、次の4つを決める必要があります

- ①代替休暇の時間数の具体的な算定方法
- ②代替休暇の単位
- ③代替休暇を与えることができる期間
- ④代替休暇の取得日の決定方法、割増賃金の支払日

また、代替休暇の単位は、取得する従業員の休息の機会を確保する観点から「1日」、「半日」、「1日または半日」のいずれかにすることになっています。

<就業規則を変更しましょう>

令和5（2023）年4月になるまでに、就業規則を変更しておきましょう。「施行日は令和5（2023）年4月1日」

就業規則の記載例

（割増賃金）第〇条

時間外労働に対する割増賃金は、次の割増賃金率に基づき、次項の計算方法により支給する。

（1）1か月の時間外労働の時間数に応じた割増賃金率は、次のとおりとする。この場合の1か月は毎月〇日を起算日とする。

- ①時間外労働60時間以下・・・25%
- ②時間外労働60時間超・・・50%

（以下、略）

<労働条件通知書や給与明細等を変更しましょう>

就業規則と同様に労働条件通知書や雇用契約書を変更する必要があります。

更に、給与明細や賃金台帳も変更する必要があります。

賃金計算や勤怠管理のシステムを導入している会社はソフトウェアの変更も必要ですので、ソフトウェア会社と事前に相談してください。給与計算を外注している会社は、外注先と早めに相談してください。

<助成金を活用しましょう>

月60時間を超える残業はしないことが一番ですので、残業の多い会社は、労働時間の短縮に取り組みましょう。そのための助成金が次の2つです。

○働き方改革推進支援助成金

生産性を向上させ、労働時間の縮減等に取り組む中小企業事業主に対して、その実施に要した費用の一部を助成する助成金です。

○業務改善助成金：

生産性向上のための設備投資などを行い、事業場内最低賃金を一定以上引き上げた場合に、その設備投資などにかかった費用の一部を助成する助成金です。

〔令和5（2023）年度も同様の助成金を実施されるはずですので、年度が替わりましたら、厚生労働省のホームページ等を確認してください。〕

<STOP！しわ寄せ>

「大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更などの「しわ寄せ」を生じさせている場合があります。大企業等と下請等中小事業者は共存共栄！適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう！」と厚生労働省・中小企業庁・公正取引委員会合同で行っています。「しわ寄せ」防止特設サイトを確認ください。

「下請かけこみ寺（TEL0120-418-618）」では、中小企業の取引上の悩み相談を受け付けています。専門の相談員や弁護士がアドバイスをを行います。

<参考：中小企業の判定>

中小企業の判定は、業種によって違ってきます。

- ・小売業では、資本金5,000万円以下または常時使用する労働者数が50人以下
- ・サービス業では、資本金5,000万円以下または常時使用する労働者数が100人以下
- ・卸売業では、資本金1億円以下または常時使用する労働者数が100人以下
- ・上記以外のその他の業種では、資本金3億円以下または常時使用する労働者数が300人以下

参考資料：「2023年4月1日から月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます」

リーフレット 厚生労働省

「しわ寄せ」防止特設サイト 厚生労働省・中小企業庁・公正取引委員会

「下請かけこみ寺」中小企業庁委託事業 公益財団法人 全国中小企業振興機関協会

**クロダイトの
迂回ユニット**

あらゆる局面に対応する
GX形 B・Bユニット

少ない資材、少ない継手数で多種多様な障害物を迂回します。

ロングバンド

ニーズに技術で応える
株式会社クロダイト
URL <http://www.kurodite.co.jp/>

仙台営業所 仙台市若林区卸町1-6-15 (卸町セントラルビル)
〒984-0015 電話 (022) 283-5959
営業本部 愛知県高浜市八幡町1丁目1番地1
〒444-1302 電話 (0566) 53-0901

岡崎市管工事業協同組合青年部会との 意見交換会の開催について

副会長 渡辺啓一郎（渡辺建設工業㈱）

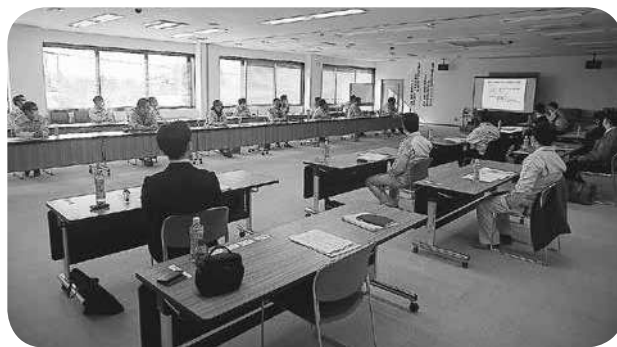
11月5日(土)、宮城県管工業協同組合の3階研修室にて岡崎市管工事業協同組合青年部会（以下、岡崎市青年部会）との意見交換会を開催した。

令和4年6月末日に岡崎市青年部会近藤智基部会長より、研修旅行の一環として、東日本大震災の経験から得た災害対応について意見を交換し、今後の防災意識の強靱化に取り組みたい旨の依頼文が宮管青年部本山泰督会長（本山振興㈱）宛てに届き、意見交換会を開催することになった。

宮管青年部9名（事務局含む）で岡崎市青年部会15名を迎えて、総勢24名の参加となり、星川勇幹事（有嘉平工業所）の進行で開会を宣した後、本山会長から挨拶があり、続いて岡崎市青年部会の近藤部会長から挨拶をいただいた。

意見交換会では“宮城県仙台市”と“宮管青年部”の紹介、“3.11当時の震災動画”を視聴した後、「東日本大震災を経験して」と題して、宮管で発行した『命の水』から抜粋した内容と震災経験を資料に、“仙台市の被害”→“宮管組合員の復旧活動”→“給水車及び修繕班出動一覧”→“水道被害の規模”→“被災地業界団体としての今後に向けた提案”という流れで当時の写真を交えて講話した。その後の質疑では、岡崎市青年部会から“どのように連携して復旧活動していたか”、“復旧作業での注意や対策、辛かったこと”、“震災を経験して備えておいた方がよいこと”、“耐震管等含めた現在使用している管種”等の質問に答えながら意見を交換した後、岡崎市青年部会南浩一副部会長に締めの挨拶をいただき閉会となった。

閉会後に記念写真の撮影を行い、お土産を渡した際、「こちらに来る際は、今度はこちらが…」と言っていた。岡崎市青年部会の研修旅行がきっかけではあったものの、結果として「交流」を行い、宮管青年部としても「研鑽」に繋げることができた。



動画を視聴しました



集合写真（撮影時のみマスクを外しています）

「令和4年度親善ゴルフコンペ」を開催して

親善ゴルフコンペ実行委員長 井上 樹（井上設備工業㈱）

11月26日(土)、仙台市泉区の泉国際ゴルフ倶楽部にて青年部親善ゴルフコンペを開催致しました。開会式では当会の本山会長より挨拶があった後、記念撮影を行い、プレー開始となりました。

当日の天候は晴れていましたが、11月とは思えない朝の冷え込みも感じられました。寒かったせいか、最初の方のラウンドは皆さまの体が起きていない状態でプレーされている方もいらっしゃいました。日中に差し掛かっていくにつれ、気温も上がり、また皆様テンションも上がり、後ろの組からは楽しそうな笑い声も多々聞こえてきておりました。ゴルフ場の見晴らしも良く、絶好のゴルフ日和でした。

優勝は(有)勇扇工業の後藤和弘様でした。私は惜しくも優勝を逃しました(笑)。参加人数はコロナ禍にもかかわらず、21名の方に参加いただきました(OB10名・会員11名)。ありがとうございました。

私自身、青年部に入会させていただいてから、なかなか皆様との交流の機会がありませんでしたので、今回の親善コンペはとても意味のあるもので、楽しく参加させていただきました。

また、初めて実行委員長を務めさせていただき、右も左もわからない状況でしたが、同委員会の阿部さんや万城目さん、委員会の皆様に優しく教えて頂き、無事開催することができました。本当にありがとうございました。この経験を活かし、今後の活動にも意欲的に楽しく参加していきたいと思えます。最後に、親善ゴルフコンペに参加していただいた皆様に御礼申し上げます。

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	後藤 和弘	(有)勇扇工業	52	43	95	24.0	71.0
準優勝	佐藤 秀一	(株)大盛設備工業	49	43	92	20.4	71.6
第3位	渡辺 皓	中央管工業(株)	49	47	96	21.6	74.4
第4位	岩渕 裕次	住設工業(株)	47	48	95	20.4	74.6
第5位	金来 和広	(株)ユーワ技研	50	52	102	26.4	75.6

※ベストグロス 万城目兼司（熱研プラント工業(株)）OUT46 IN44 GROSS90



集合写真（撮影時のみマスクを外しています）



我が社のおすすめ品！



Mr. みやかん

当組合お取引資機材メーカー各社様が、おすすめる製品を紹介するコーナーです。

「耐寒H型メーターボックス専用調整枠」 「スリム内副管マンホール継手」

前澤化成工業(株)

「耐寒H型メーターボックス専用調整枠」

【商品詳細】

耐寒H型メーターボックスを使用している、主に東北地区の施工業者様より多数のご要望を頂きましてこの度、製品化させて頂きました。建築都合でGLが変わったりなど、設置後に調整が必要になった際、ご使用頂けます。

【施工手順】

- ① 枠と本体を固定しているビスを緩め、蓋ごと枠を取り外してください。
- ② 付属の固定用コマを本体内側の溝に取り付け、本体と調整枠（25mm）を固定します。
- ③ 調整枠1段の場合は、蓋枠を載せビス止めをして完成です。
- ④ 調整枠をさらに2～3段重ねる場合は、調整枠同士をビス止めします。

【製品特長】

調整枠は最大3段重ね（嵩上高さ75mm）としてください。
凍上対策の為、ボックス本体も凹凸のない形状で、各部品もビス固定になっています。

「スリム内副管マンホール継手」

【製品概要】

ご好評のUMFシリーズに、1号UFMBTA150×100をラインナップ。

【製品特長】

- ① 吊下ボルト穴（施工補助）の新設。4点ボルト固定の作業性アップのために天位置の仮止め穴を新設しました。
- ② 最大削孔径が一回り大きく便利に。従来のUFMと比べて4点ボルト固定穴の位置を外側にシフトしました。
- ③ 点検口を上流パイプ内径まで拡径。従来より検査、維持管理が行いやすくなりました。
- ④ 本体下流側が受口使用になりました。150×100の立て管はVU100です。
- ⑤ UFMに比べ約70mmの省スペースを実現しました。

〔問合せ先〕

前澤化成工業(株) 北日本支店 仙台営業所

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1

仙台タワー第一生命ビルディング

電話 022-748-4288 (代) FAX 022-748-4366

既存ボックスの高さ微調整の作業性を向上！ H型量水器ボックス専用 微調整枠 25mm



GLに近い枠と
本体の間で
高さ微調整
が可能！

	品名	梱包数	セット内容
調整枠	MBS-20H×25	1	調整枠半割れ 2本 固定駒 4個 SUS タッピング 5×16 4個
調整枠	MBS-25H×25	1	
調整枠	MBS-30H×25	1	

ご好評のスリム内副管マンホール継手に

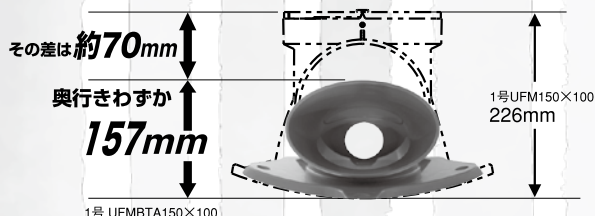
塩化ビニル製内副管継手
ビニ内副管
EPAシステム

150×100シリーズをラインナップ

スリム内副管マンホール継手

1号UFMBTA 150×100

UFM に比べ約 70 mmの省スペースを実現しました。



 **前澤化成工業株式会社**



整理整頓


全栄興業(株) 代表取締役
宮城県管工業協同組合
理事 小野 修 司

どうも私は、整理整頓が苦手らしい。と言うか物が捨てられない。数年前に流行った「断捨離」が出来ない。不要なものを断り、不要なものを捨て、物への執着から離れるといったことらしいが、毎日の様に送られてくる機関誌や郵便物が、日増しに机の上にたまっていく。機関誌等は読んで捨てればいいものの、ちょっと興味のある記事や後から使えそうな記事が載っていると、ついつい重ねてしまう。なんなら、最後の方に載っているクロスワードやまちがい探し等のクイズなんか「時間のある時にやろう」と思い、とっていたりする。しかも、そんな時間はそうそう訪れる訳もなく、たまる一方だ。他社の社長さんの机を見る機会があると、たいてい綺麗になっていて、パソコンと電話が机の上にある位だ。

何かの本で読んだ事があるが、「机の上が乱雑な人は、仕事が出来ない」と書いてあったが、その基準であれば、間違いなく私は仕事の出来ない部類に入る。「いつか使う」は「絶対に使わない」と聞いたこともあるが、いつか使うものを必要な時に取り出せなかったり、忘れていたりする。しかも、たちの悪いことに捨てる必要になったり、参考に出来た資料だったりもする。

私の父親の机も同じように乱雑極まりない。それこそ、私からすれば、必要のない物のオンパレードだ。私の息子もまた然り。息子はよくネットで買い物をしているが、マスクやヘッドホンなんかを買っても、やたら大きい段ボールに入ってくる。そのダンボールを部屋の中に重ねている。見かねた私が「段ボールハウスでも建てる気か」と言ったこともある。もはや、捨てられないのは遺伝なのかとも思う。

それでも、2023年も始まったことだし、この際、目をつむって机の上の機関誌やらなにやら、全てを捨ててしまおうと思う。間違っても組合広報誌の「みやかん」は捨てませんけどね。



用途に合わせて選べる **TAK** の水道管シリーズ

製造、販売

●ステンレスプレファブ鋼管	●鋼管プレファブ管	●伸縮可撓継手
●硬質塩化ビニルライニング鋼管	●水輸送用塗覆装鋼管	●スネークジョイント
●耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	●水道用ポリウレタン塗覆装鋼管	●フッ素樹脂ライニング鋼管
●ポリエチレン粉体ライニング鋼管	●集合住宅給水システム	●特殊ダクト
●ナイロンコーティング鋼管	●鋼管継手・鋼製プレファブ管	

株式会社 多久製作所 アクア・プラントカンパニー 東日本水道営業統括部 東北グループ
 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井四丁目 26 番地 2 TEL.(022)288-2161 FAX.(022)288-2164
<http://www.tak-ss.co.jp/>

組 合 の う ご き

- 9月1日(木)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原・小林両副理事長外出席
- 9月5日(月)・令和4年度建設専門業の経営革新支援研修会に千葉総務部次長出席
- 9月6日(火)・広報委員会開催
- ① “みやかん” 清秋号の発刊について
 - ② 各コーナーの執筆者について
- 9月7日(水)・令和4年度宮管親善ゴルフコンペを開催、組合員等26名参加
- ・令和4年度後期技能検定試験実施計画説明会に白戸工事部次長出席
- 9月8日(木)・9月度理事会開催
- ※報告事項
 - ① 庶務報告
 - ② 共同事業実績報告
 - ③ 広報委員会報告
 - ④ 親善ゴルフコンペ実施報告
 - ⑤ 令和4年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告
 - ※協議事項
 - ① 仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について
 - ※その他
 - ① 令和4年度中間棚卸しの実施予定
- 9月20日(火)・令和4年度中間棚卸しを実施
- 9月26日(月)・令和4年度随時実施技能検定（プラント配管）実技試験が実施され、相澤十四男会長（株）相澤設備）が技能検定委員として運営にあたる
- 9月28日(水)・令和4年度給水装置工事配管技能検定会開催、組合員従業員等59名受検
～29日(木)
- 9月30日(金)・令和4年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催、組合員従業員等16名
～10月1日(土)受講
- 10月4日(火)・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会に井上理事長外出席
～5日(水)
- 10月12日(水)・仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情会に井上理事長外出席



旭有機材株式会社

管材システム事業部 仙台営業所
宮城県仙台市青葉区二日町12番30号
日本生命仙台勾当台西ビル2階
TEL:022(213)3911/FAX:022(213)3912

ゲートバルブ



ARIGATO ASAHI AV

トルク軽減 300,350mm

軽量 高耐食

ラインナップ

- ・標準型：
32mm～350mm
- ・ソフトシール型：
32mm～200mm



10月13日(木)・10月度理事会開催

※報告事項

- ①庶務報告
- ②共同事業実績報告
- ③令和4年度中間棚卸し結果報告
- ④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告
- ⑤配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告
- ⑥令和4年度地区連絡会ブロック会議の書面開催案内について
- ⑦仙台市青下水源地周辺清掃活動への参加協力依頼について

※その他

- ①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について
- ②12月度理事会開催日程の変更について

10月14日(金)・宮城商工中金会役員会及び令和4年度通常総会等に井上理事長出席

10月17日(月)・組合員(有)岩佐設備工業所代表取締役社長佐々木晃文様通夜に井上理事長参列

10月18日(火)・全管連第351回理事会及び講演会に井上理事長出席

10月19日(水)・第25回全管連北海道・東北ブロック協議会（福島県郡山市）に井上理事長、渡辺常任相談役、菅原副理事長外出席

10月25日(火)・令和4年度第2・四半期監査会開催

・令和4年度後期技能検定実技試験実施に係る打合せ会に白戸工事部次長出席

10月29日(土)・仙台市青下水源地周辺清掃活動に官公需事業履行協力組合員等13名参加

10月31日(月)・令和4年度随時実施技能検定（建築配管）実技試験が実施され、藤岡正行会長（㈱アトマックス）が技能検定委員として運営にあたる

11月7日(月)・上下水道委員会開催

※報告事項

- ①令和4年度工事事業の予算と上半期実績（4月～9月分）
- ②仙台市指定給水装置工事事業者並びに仙台市公認排水設備工事事業者数の推移

※協議事項

- ①4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・上下水道委員会）意見交換会の開催について

- ②広報誌“みやかん”への執筆者について

・第50回仙台市技能功労者表彰式が開催され、組合員㈱大盛設備工業の鈴木正氏が同表彰を受賞

ダクスタイル管

日本鑄鉄管(株) 特約店

ナンブ

株式会社

ナ ン ブ

代表取締役 植原 文夫

(本 社) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-6-7 電話 03(5809)0562(代) FAX03(5809)0563
(東北営業所) 〒981-3215 仙台市泉区北中山4-1-2 電話 022(379)4393(代) FAX022(379)4394

11月10日(木)・11月度役員会開催

- ①庶務報告
- ②共同事業実績報告
- ③上下水道委員会報告
- ④令和4年度技能検定実技試験の実施について
- ⑤令和4年度技能向上訓練(実技・学科部門講習会)の実施について
- ⑥令和4年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告
- ⑦嘱託員の継続雇用について
- ⑧第2・四半期決算報告
- ⑨第2・四半期監査報告
- ⑩仙台市青下水源地周辺清掃活動報告
- ※協議事項
 - ①仙台市営バスへの広告掲出延長について
 - ②令和5年新年祝賀会について

11月11日(金)・全国建産連第2回専門工事業委員会に井上理事長出席

- ・令和4年度組合親善ボウリング大会を開催、組合員従業員等91名参加

11月14日(月)・宮城商工中金会50周年記念式典・懇親会に井上理事長出席

11月17日(木)・(株)宮城県管工事会館監査役会に吉田専務理事、武田監事出席

11月20日(日)・第21回2022仙台市下水道フェア川柳コンクール表彰式に井上理事長出席

11月22日(火)・(株)宮城県管工事会館創立50周年記念祝賀会に組合四役外出席

- ・東北配管工事業協同組合令和4年度合同例会及び懇親会に関東営業課長出席

11月25日(金)・建設業法令遵守講習会に千葉総務部次長出席

11月28日(月)・令和4年度後期技能検定委員等打合せ会に藤岡正行会長(株)アトマックス)、相澤十四男会長(株)相澤設備)、福田幸穂社長(株)加納工業所)、白戸工事部次長外出席

12月1日(木)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原副理事長外出席

12月3日(土)・鹿野淳一氏(山形県管工事業協同組合連合会会長)の褒章受章を祝う会に渡辺常任相談役、堀理事出席

12月7日(水)・全国建産連「第27回専門工事業全国会議」に井上理事長出席

12月8日(木)・全管連第51回総務委員会並びに令和4年度第1回災害対策担当理事会に井上理事長出席

12月12日(月)・令和4年度宮城県建設雇用改善推進対策会議に井上理事長、堀理事出席

12月13日(火)・宮城県中小企業団体中央会令和4年度第3回理事会に井上理事長出席

12月14日(水)・「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県白石工業高等学校で開催され、井上設備工業(株)の井上樹氏と(株)いづみ衛生施設工業の石川昂由氏がコーディネーターとして出席

12月15日(木)・12月度役員会開催

※報告事項

- ①庶務報告
- ②共同事業実績報告
- ③上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会について
- ④令和4年度親善ボウリング大会報告
- ⑤令和4年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに排水設備工事業者の新規承認について

※その他

①年末年始休業について

②年末一時金の支給について

12月20日(火)・宮城県官公需適格組合連絡協議会受注獲得セミナーに井上理事長出席

12月26日(月)・広報委員会開催

※協議事項

①“みやかん”新春号の発刊について

12月30日(金)・年末年始休業

↓

1月4日(水)

長年の経験・技術で水道事業に貢献致します。

水道用ゴム輪・フランジパッキン・ポリエチレンスリーブ・サンエコシート・埋設シート・管明示テープ・ロケーティングワイヤー



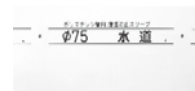
水道用ゴム輪



フランジパッキン



ポリスリーブ



溶剤浸透防護スリーブ




水圧試験機本体



折り畳み開栓機

日本水道協会第1種検査工場 ISO9001:2015(本社・滋賀工場) ISO14001:2015(滋賀工場) 認定取得

 **サンエス護謨工業株式会社**

仙台支店
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井五丁目1番地の3
TEL 022-287-1601 FAX 022-287-5383

町野式口金内蔵

ラクエア

耐震補修弁

マルチガスケット



時代に応える製品で
安心・安全な水を届けます。

水道用バルブから水処理まで



株式会社 **清水合金製作所**

仙台営業所 仙台市若林区河原町1-5-1 ハイツ河原町 TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320
本社(滋賀県彦根市)・札幌・青森・東京・名古屋・大阪・中国四国・九州

組合員のうごき

○組合員代表者変更

有限会社 岩佐設備工業所 (No.43)

【令和4年10月15日付】



新 代表取締役 佐々木 良 伸
前 代表取締役 佐々木 晃 文

株式会社 平設備興業 (No.71)

【令和4年10月31日付】



新 代表取締役 鹿 野 恭 平
前 代表取締役 佐 藤 優 昭

訃 報



当組合員(有)岩佐設備工業所 代表取締役社長 佐々木^{てるふみ}晃文様におかれましては、令和4年10月15日(土)逝去されました。満79歳でした。

佐々木さんは、昭和46年4月に同社へ入社、昭和62年9月に同社の代表取締役に就任されました。以来、地域に根ざした設備業者として、同社の確固たる基盤を築き上げました。

組合においては、平成8年から同12年まで2期4年にわたり資材委員をお務め頂き、組合事業にご尽力頂きました。

葬儀は、10月18日(火)午後2時から、仙台市宮城野区の「東清月記」にてしめやかに執り行われ、故人のご冥福をお祈り致しました。

理事（役員）会報告

－ 9 月度理事会－

1. 日 時 令和 4 年 9 月 8 日(木)15：00～15：40
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3 階 研修室
3. 出席者 理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事
郷古理事・相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事 計14名
事務局 須藤事務長・白戸工事部次長・小島資材部次長・千葉総務部次長 計 4 名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉総務部次長より、組合の 8 月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について 8 月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③広報委員会報告

赤間広報委員長より、広報誌「みやかん」清秋号の掲載予定記事の内容審議を行った旨が報告され、一同了承した。

④親善ゴルフコンペ実施報告

松岡総務・厚生委員長より、9 月 7 日に開催したゴルフコンペについて、参加者数、収支、当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑤令和 4 年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合会報告

千葉総務部次長より、8 月 24 日に開催した首題打合会での協議内容が報告され、開催の是非については、四役で最終判断することとし、一同了承した。

※協議事項

①仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について

吉田専務理事より、10 月 12 日に予定している首題陳情について、当日の出席予定者、陳情の項目とその内容等の原案が図られ、一同了承した。

※その他

①令和 4 年度中間棚卸しの実施予定

小川常務理事より、首題の件について、9 月 20 日に通常営業しながら実施する旨が説明され、一同了承した。

－10月度理事会－

1. 日 時 令和4年10月13日(木)15:00～15:50
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事 計13名
事務局 須藤事務長・白戸工務部次長・小島資材部次長・千葉総務部次長 計4名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉総務部次長より、組合の9月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について9月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③令和4年度中間棚卸し結果報告

小川常務理事より、9月20日に実施した中間棚卸しの結果について、資材・工事の在庫状況が報告され、一同了承した。

④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

松岡総務・厚生委員長より、9月30日と10月1日に開催した首題講習会について、受講者数や収支等が報告され、一同了承した。

⑤配水管技能講習会（白石工業高等学校）実施報告

白戸工務部次長より、10月4日と5日の2日にわたり、同校設備工業科2年生27名を対象に実施した首題講習会について、講習内容や当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑥令和4年度地区連絡会ブロック会議の書面開催案内について

千葉総務部次長より、前回理事会にて協議の上、四役一任となった今年度の地区連絡会ブロック会議開催の是非について検討した結果、コロナ感染が収束していない現状を鑑み、昨年度同様書面開催とすること、また、その際の案内文について提案され、一同了承した。

⑦仙台市青下水源地周辺清掃活動への参加協力依頼について

吉田専務理事より、仙台市水道局から案内があった首題清掃活動への参加について、人数制限があるため、当組合が同局から受注（受託）している業務の配分先組合員16社へ案内したところ、11社の申込みがあり、組合事務局の2名を加えた13名で参加することが説明され、一同了承した。

※その他

①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について

吉田専務理事より、宮城県土木部事業管理課から依頼があった首題サロンへの講師派遣について説明があり、人選について諮ったところ、回答期限まで時間的な猶予がないこと等から、昨年度同講師を承引頂いた二人をお願いすることとし、一同了承した。

②12月度理事会開催日程の変更について

井上理事長より、12月度理事会の開催日について、全管連の会議と日程が重なったため、12月15日(木)に変更したい旨が説明され、一同了承した。

—11月度役員会—

- | | | |
|--------|---|------|
| 1. 日 時 | 令和4年11月10日(木)15:00～16:00 | |
| 2. 場 所 | 宮城県管工業協同組合 3階 研修室 | |
| 3. 出席者 | 理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・赤間理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事
郷古理事・相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事 | 計14名 |
| | 監 事 大泉監事 | 計1名 |
| | 事務局 須藤事務長・白戸工事部次長・小島資材部次長・千葉総務部次長 | 計4名 |

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉総務部次長より、組合の10月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について10月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道委員会報告

郷古上下水道委員長より、11月7日に開催した首題委員会において、令和4年度上半期の工事事業実績と仙台市指定給水装置工事事業者並びに公認排水設備工事事業者数の推移を報告した旨、次いで12月6日に行う予定の4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会の主な内容等について説明され、一同了承した。

④令和4年度技能検定実技試験の実施について

⑤令和4年度技能向上訓練(実技・学科部門講習会)の実施について

白戸工事部次長より、令和5年1月7日(土)と2月1日(水)～2日(木)に予定されている令和4年度技能検定の建築配管実技試験実施計画と、その受検準備講習会を兼ねた技能向上訓練の実施予定[学科講習1・2級合同/令和5年1月7日(土)～8日(日)、実技講習/1級=令和5年1月14日(土)・2級=1月15日(日)]と収支予算等が説明され、一同了承した。

⑥令和4年度仙台市技能功労者表彰受賞者報告

千葉総務部次長より、首題の受賞者について次のとおり報告され、一同了承した。

令和4年度仙台市技能功労者表彰受賞者

鈴木 正氏(株)大盛設備工業)表彰式:令和4年11月7日

⑦嘱託員の継続雇用について

吉田専務理事より、令和4年12月2日で現契約期間が満了となる資材部営業課配属の嘱託員1名について、従前同様の条件で向こう1年間雇用を延長したい旨が説明され、一同了承した。

⑧第2・四半期決算報告

⑨第2・四半期監査報告

須藤事務長より、第2・四半期（令和4年4月1日～令和4年9月20日）の決算内容が報告された後、大泉監事より、監査の結果について適正に会計処理されている旨が報告され、一同了承した。

⑩仙台市青下水源地周辺清掃活動報告

堀理事より、10月29日（土）に実施された首題清掃活動について、当日の様子等が報告され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市営バスへの広告掲出延長について

須藤事務長より、令和5年1月14日で1年間の現契約が満了する市営バスへの広告掲出について、向こう1年間従前同様の5台で延長したい旨が提案され、一同了承した。

②令和5年新年祝賀会について

千葉総務部次長より、令和5年1月24日（火）に江陽グランドホテルにおいて予定している新年祝賀会の開催案について、新型コロナウイルス感染拡大が未だ続く中ではあるものの、感染対策を講じ、案内者を絞って開催すること等が提案され、一同了承した。

－12月度役員会－

- | | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 令和4年12月15日（木）16：00～16：30 |
| 2. 場 所 | 江陽グランドホテル 3階 白鳥の間 |
| 3. 出席者 | 理 事 菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事・小川常務理事
赤間理事・松岡理事・小野理事・大浦理事・服部理事・堀理事 計10名
監 事 武田監事・大泉監事・鈴木監事 計3名
オブザーバー 渡辺常任相談役 計1名
事務局 須藤事務長・白戸工事部次長・小島資材部次長・千葉総務部次長 計4名 |

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉総務部次長より、組合の11月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について11月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会の書面開催について

服部上下水道副委員長より、当初12月6日に対面で開催予定だった首題意見交換会について、出席予定者に複数のコロナ感染者が出たため、急遽書面開催となったこと、については意見要望等に対して文書回答を得たことが報告され、組合員へは後日文書を送付して周知することとし、一同了承した。

④令和4年度親善ボウリング大会報告

松岡総務・厚生委員長より、11月11日に開催した首題大会の参加者数や費用等について報告され、一同了承した。

⑤令和4年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

白戸工事部次長より、令和4年12月29日～令和5年1月3日迄の年末年始期間における首題の配置体制と寒波時の対応について説明され、一同了承した。

⑥仙台市指定給水装置工事業者の新規指定並びに排水設備工事業者の新規承認について

白戸工事部次長より、仙台市指定給水装置工事業者として令和4年8月から11月末までの間に3社が新たに指定を受けた一方、5社が指定廃止となったほか、16社が指定効力を失効したため、11月末現在の指定業者数が553社になったこと、また、仙台市公認排水設備工事業者として令和4年12月1日付けで新たに4社が承認された一方、3社が承認取消になったため、同日現在の公認業者数が379社になっていることが報告され、一同了承した。

※その他

①年末年始休業について

吉田専務理事より、今年度の年末年始休業について、令和4年12月29日(木)は午前中営業とし、12月30日(金)から令和5年1月4日(水)迄としたい旨が説明され、一同了承した。

②年末一時金の支給について

吉田専務理事より、今春の労使協定に基づき支給する年末一時金について報告され、一同了承した。

株式会社 **キッツ** の 給水装置用製品

- サドル付分水栓
- ボール止水栓
- 甲形止水栓
- 逆流防止弁
- 青銅製継手
- 水道用ポリエチレン管金属継手 (KCPジョイント)
- 塩ビ管用伸縮可とう式継手 (ルークジョイント)
- フレキシブル継手
- 給水・給湯樹脂管用ワンタッチ継手 (クリアロックS)
- メータユニット



■お問い合わせは
東北営業所
〒980-0811
仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
☎022-224-5335 Fax 022-224-5336
ホームページ <https://www.kitz.co.jp>

The next quality. The next performance.

GENEX

For Earth, For Life
Kubota



株式会社 **クボタ** パイプシステム事業部

穴をふさごう



仙興設備(株) 代表取締役
宮城県管工業協同組合
総務・厚生委員 佐藤 敏昭

或る平日の出来事。量水器の取替作業の為に、お客様宅へと訪問する。こちらは長い間、人の住んでいない空き家である。メーターボックスの場所を確認すると、そこにあったのは鉄製の非常に小さな箱。昭和中期を彷彿とさせる「量水器」とおぞましい形の文体で書かれた製品である。蓋を開けると、配管の四隅に粒々の入ったナイロンが保温の為にぎっしりと詰まっている。取り除かなければ仕事が出来ない。また、このナイロンを傷つけると粒々が散乱し、とても厄介である。私の心に緊張が走る。一つずつ慎重にバケツに移す作業を展開する。三つ目の袋を移し終え、四つ目を掴んだその時、「ぐにゃっ」とした感触が…。手を離すと、それはナイロン袋ではなく、手のひら大のヒキガエルだった。移動させないと仕事が進まない。さて、どうしたものか。作戦を練り始める。トングとトレーを持ってきて、パン屋さんでパンを選ぶ時のようにトングをカチカチさせながらトレーに移そうか。はたまた、ブラックバスを持つ時のように口をおさえて移動しようか。熟考の末、移植ベラですくい上げる工法を選択した。しかし、これがなかなか難しい。彼は動いている。逃げようとする姿が愛らしい。だんだんと情がわいてきた。ここは一瞬にかけなければ勝負にならない。そうだ、人生の勝負どころである。「えいっ！」と強めにスイングすると思いの外、高く舞い上がってしまった。くるくるとまるでコインスのごとく、又はつば九郎の帽子のように彼は回り始めた。果たして表なのか？裏なのか？時は止まった。

…。「べたっ！」腹を上に向けて彼は着地した。想定外。裏である。彼がヒキガエルだけに表を想像していた。これは当たりなのか、外れなのか？私は何も失っていないので外れではないのだろう。ゆっくりと時間が動き出す。彼も動き出す。二段階リーチで裏が表に変わった。「なんちゃって」とばかりに彼は草むらへと消えて行った。手早く作業を遂行し、粒々保温材を元に戻す。緊張はもうない。だがしかし、そう、四隅にあったはずの保温材が三つになってしまった。麻雀に例えるなら一人飛んで三人になった状態。おねえさんのいる飲食店になぞらえるならば、一人が他のテーブルに行ってしまう、心にぽっかり穴のあいた寂しい状態である。私はウエスで代用して心の隙間を埋め、古いメーター器をブラックバスのように持って回収し、長い戦いを終えたのであった。このように、何もなくても災いはふりかかるものである。

さて、総務・厚生委員の佐藤です。何度目の原稿でしょうか。書く事もないのが現状ですが、いつも通りの「罪なきうんちく」を書き綴って参りますので、皆様このご時世、少しでも笑って頂けたら幸いに存じます。それでは閑話休題からどうぞ。

近年、まだまだ若い、なんなら一生青春と思っていた私も老化を感じてしまう。モスキート音が聴こえると思っていたものが、実はただの耳鳴りであったりする。そんなさ中、永年の不摂生と多忙から虫歯をこじらせてしまい、半ば緊急的に歯科に通院するに相成った。とはいえ、お医者様など何年もかかった事がなく、全くもってルールがわからない。ドアを開けてキョロキョロしてしまう。挨拶は大卒より大切、と軽く心の中で韻を踏み、激痛の中、勢いよく挨拶をする事から始める。治療が始まる。よく見ると先生を筆頭に全て女性スタッフである。ちょっとした飲食店状態。他の先輩患者はにこやかに話をしながら治療を受けている。冗談の一つも言わなければいけないのか？否、そもそも

患者たる者そんな態度であってはならない。ひたすら低姿勢を心に刻む。「痛い時は手を挙げて下さい」
 どうやらそんなルールがあるらしい。痛いと言うより正直怖い。やがて、「痛くないですか？」と質
 問されてしまった。ルール通りならば、手をあげると痛い事になってしまう。だが質問は「痛くない
 ですか？」である。どうする…。体が震え出す。思い切って言葉に出して返答しよう。「だ・だいじょ
 うぶでふ」その時、「だいじょうぶでふ」の「ふ」の部分で思いきり先生の指を噛んでしまった。「だ
 いじょうぶでふ」とすでに1回噛んでいるにもかかわらず、あろう事かお医者様の大切な指を本当に
 噛んでしまったのである。低姿勢が裏目に出た。「です」さえ付けなければ…。先生は「全然大丈夫
 ですよ」とおっしゃっていたが、後に向こうの方で「いったあーい」という声が聞こえた。数か月通
 院した私は、今では頷くという技を身につけている。そして通院が長くなり、褒められるようになり、
 冗談も言えるようになり、治療費が高くなる事も飲食店のそれと同じである。

皆様もご多忙とは存じますが、時間を作って歯と心の穴をふさいでもらう事も強く進言いたします。
 心の穴をふさぐのはなかなか困難な昨今ですが、あのヒキガエルに言わせれば、「北の方から何やら
 飛んでくるが、そんなものオレと同じようにくると回しちまえばいいのさ。世界を統一しようとハ
 ンコなんか買わなくたって、オレには立派な模様がついてるぜ！サラバ昨日を脱ぎ捨てて勇気の声
 を振り絞れ！」ちなみにもクロはヒキガエルの模様に掛かっている。

本年もよろしく願いいたします。

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊X[®]



「抜群の施工性」
 ナットを外さずに施工ができます。
 配管用り込み時にパイプの
 調整が楽にできます。

「向上した安全性」
 3つ（脱落防止・外れ防止・目視確認）
 の新機構で実現した、
 これまでに無い安全性

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

洗濯機排水のこの音、解消します☆

浴槽の水が勢いよく流れた場合、管内に負圧が発生し、洗濯機の封水が
 引き込まれてしまうため、「ゴボツ」という音が発生します。



ゴボツ
ゴボツ

スポツ

空気 → 水 →



使うのは
コレ!

ポイントは通気機能 ≈
 排水トラップと通気弁が合体/
 空気を取込み、洗濯機の封水を引込む
 原因の負圧を解消します。

通気弁つき洗濯機用排水トラップ
426-002

株式会社 **カクダイ**
水と住まいの道具
<https://kakudai.jp>

仙台営業所
 〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目4番14号
 TEL (022) 239-8371 FAX (022) 239-8370

編集歳時記

(2023年新春号No.505)

「お酒」

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年を迎えられたことと存じ、心よりお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍で、制限は緩和されたものの、忘新年会、総会などの会合が減っており、飲食に行く機会が少ない状況が続いています。そのおかげで、美味しいお酒を購入して、もっぱら自宅で一人、たしなんでおります。というわけで、今回は「お酒」について書かせていただきたいと思います。

ビール、焼酎、ウイスキー、ワインなど美味しいお酒はたくさんありますが、私の一番は魚料理が好きということもあり、やはり日本酒です。

週末には、女房と食材の買い出しに行き、美味しそうな魚介類を購入します。また、釣りをするので、自分で釣った魚（もらったものもあり）を捌いて、刺身や昆布締め、フライ、煮つけなどにします。先日はトラフグが釣れたので地元の寿司屋さんをお願いしてふぐ刺しにさせていただきました。日本酒は魚料理にとってもよく合いますが、自分で釣った新鮮な魚をあてに飲む酒は最高で、まさに至福の時です。

地元宮城には、米どころということもあり、伊達セブンをはじめ、活気のある蔵元がたくさんあり、海外でも人気があるものも多いそうです。日本酒は甘口、辛口や純米酒、大吟醸などいろいろなタイプがありますが、私が好きなものは旨口と呼ばれるもので、その中でも一番は、毎年12月初めから1月半ばくらいの時期に行われる塩釜市の「蔵出し新酒まつり」に地元の二つの蔵元、浦霞醸造元と阿部勘酒造が限定で醸造する新酒の生酒です。この「生酒」というのは醪（もろみ）を搾った後に一切の加熱処理をしないお酒で、薄く濁っていて温度による劣化を招きやすく、冷蔵が必須です。購入したお酒は冷蔵庫で保管をしなければなりません。我が家の冷蔵庫の空きスペースは一升瓶2本が限度です。家族からクレームが来ないように、2本しまいこみます。

毎年、新酒購入日の夜は深酒確定です。フレッシュで爽やかなの香りと、果実のような味もして…とにかく美味しくて止めることができなくなります。適量であれば、LDL（悪玉）コレステロールの増加が抑えられ、HDL（善玉）コレステロールが増加するため、血液が血管の中で詰まりにくくなり、心筋梗塞や狭心症など虚血性心臓病を予防する効果があるとされており「酒は百薬の長」になるのですが…「されど万病の元」

今年の課題としたいと思います。

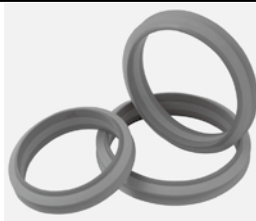
広報委員

佐藤 健（佐静建設株）

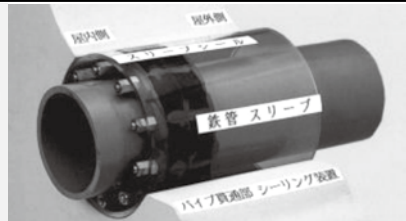
アカギ式 配管支持金具



ハヤツリ



止水A-リング



スリーブシール



配管支持金具の

株式会社

アカギ

仙台営業所 / 〒984-0002 仙台市若林区卸町東4-1-19 Tel.022-287-7311
 本社 / 〒104-8251 東京都中央区入船2-1-1 Tel.03-3552-7331
 支店・営業所 / 全国主要都市



編集・発行

本年も誌面の充実に努めて参りますので、ご寄稿とご愛読下さいますよう心よりお願い申し上げます。

宮城県管工業協同組合 第46期 広報委員会

委員長	赤間 勇一郎	(株) 赤間 総業	代表取締役社長)
副委員長	小野 修司	(全) 栄興業 (株)	代表取締役社長)
委員	佐藤 健	(佐) 静建設 (株)	代表取締役社長)
委員	金来 和広	(株) ユーワ技研	代表取締役社長)
委員	坪田 映二	(坪) 田工業 (株)	代表取締役社長)
委員	大友 進	(東) 水工業 (株)	専務取締役)

専務理事 吉田 秀之
 理事 堀 政信